

三重県アセアンビジネスサポートデスク現地レポート

平成27年7月24日

三重県アセアンビジネスサポートデスク

株式会社野村総合研究所（NRI）

[タイ] 増え続ける日本食店

現在、タイには日本食店が約 2100 店舗あり（ジェトロ・バンコク調べ）、毎年 100 店舗以上の勢いで増えてきていると言われる。これには、店舗数が 100 を超えるハチバンラーメンのような和食チェーン店の数を含む。また、ほとんどの日本人が行かずタイ人しか行かないような、日本人から見ると和食もどきの日本食店も入っている。とはいえ、何れにせよタイにおける日本食市場の大きさがうかがえる。

外務省の海外在留邦人数調査統計によれば、タイに在留する日本人は約 6.4 万人（2014 年 10 月 1 日現在）で、前年比 8.5%の増加、2005 年と比べて 77%の増加となっている。このように堅調に増加してきた在タイの日本人が次々と開店する日本食店への需要を支えていることは確かであろう。

しかし、大規模に展開する和食チェーン店（比較的廉価）と価格帯が最高級な日本食店に限ってみると、顧客層の主流はむしろタイ人である。前者は中間所得層のタイ人、後者は富裕層のタイ人が中心となる。

多くの日本人にとってタイ料理に親和性を感じるのと同様に、多くのタイ人にとっても日本料理に親和性を感じているものと考えられる。

[タイ] 増え続ける訪日客

日本政府観光局（JNTO）によると、2014 年の訪日タイ人は 65.8 万人で、前年より 45%増加した。タイからの訪日客数はアセアン諸国からのなかで最大となっている。2015 年 1 月～5 月の速報値でも、タイからの訪日客数は約 38 万人で、前年同期比で 29%増加している。

一方、国際航空民間機関（ICAO）による安全規制検査において、タイ航空当局の安全監理体制が不十分で懸念ありと 2015 年 6 月に表明された。これにより、アメリカやインドネシアがタイの航空会社による新規就航、増便などを暫定的に停止している。日本を含む東アジアや東南アジアの他国が同様の措置を取ると、タイと日本間の経由便を含む航空輸送能力が、訪日客誘致、さらなる増加の制約要因になる可能性もある。